

プランニングの流れ① ~アンケート実施~

プランニングを行う前には、「アンケート」を使って、子供たちに学級の現状を自己評価させます。アンケートは10個の質問項目から構成されています。また、文末表現は「~できる学級です。」というように、自分自身を評価するのではなく、学級全体を評価する表現となっています。

アンケートを行う時には、「よりよい学級を一緒につくっていこう」「これからの学校生活をさらによいものにしていこう」「一人一人の考えている素直な気持ちを教えて」などという思いを伝えながら、子供たちの気持ちに寄り添った前向きな言葉掛けをします。

アンケート	組	番	名前
このアンケートは、皆さんの意見を聞いて、学級をよりよくするためのものです。今までの学校生活を振り返って、それぞれの項目の数字に○をつけてください。			
4:あてはまる 3:すこしあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない			
①受容: 人の考えや思いをしっかりと聞くことができる学級です。			4-3-2-1
②安心: 学級の仲間一人一人が安心して、生活できる学級です。			4-3-2-1
③団結: みんなで団結して取り組むことができる学級です。			4-3-2-1
④貢献: 誰かのために力を尽くしたり、役立ったりできる学級です。			4-3-2-1
⑤感謝: 感謝の気持ちをお互いに言い合える学級です。			4-3-2-1
⑥承認: お互いのよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。			4-3-2-1
⑦尊重: お互いをばかにしたり、無視したり、からかったりしない学級です。			4-3-2-1
⑧共感: お互いの気持ちを考えて、行動することができる学級です。			4-3-2-1
⑨主張: 自分の考えや思いを遠慮せずに伝え合う雰囲気のある学級です。			4-3-2-1
⑩援助希求: 困っているときに、級友に「手伝ってほしい」とお願いできる学級です。			4-3-2-1
上の項目を読んで、あなたの頭の中に浮かんだ日常生活の具体的な場面を書いてください。			
【良い場面】		【悪い場面】	

アンケートは10分~15分で実施できます。

自分自身の評価ではなく、学級全体に対する評価です。

プランニングをスムーズに進めるために記入させます。

プランニングの流れ② ～レーダーチャート作成～

アンケート後には、エクセルにアンケート結果を入力し、学級全員の思いが集約されたレーダーチャートとプランニングの時に使用するプランニングシートを作成します。

「レーダーチャート作成表」への入力

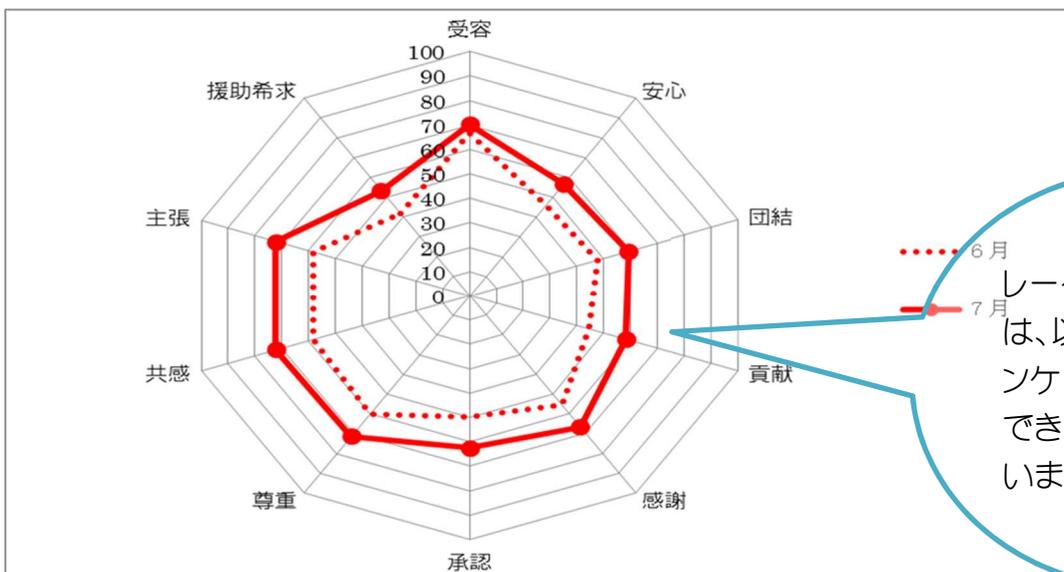
- ① 名前の行に学級に在籍する生徒の氏名を入力します。(下図の青枠内)
- ② 名前の列にアンケート結果を数値で入力します。(下図の赤枠内)
- ③ 結果を入力するとレーダーチャートとプランニングシートが作成されます。

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
名前	青森	青森																											
	太郎	一郎																											
受容	2	4																											
安心	4	3																											
団結	3	2																											
貢献	4	3																											
感謝	3	4																											
承認	2	2																											
尊重	1	3																											
共感	2	1																											
主張	3	1																											
援助希求	4	2																											

< 商標 >

Excel はマイクロソフトコーポレーションの登録商標です。

レーダーチャート



..... 6月
 ——— 7月
 レーダーチャートでは、以前に行ったアンケート結果と比較できるようになっています。

アンケートの自由記述に書かれた文章をエクセルのプランニングシートに入力してまとめます。そうすることで、プランニングの時に、具体的な場面や、子供たちの思いを学級全体で共有しやすくなります。

上の項目を読んで、あなたの頭の中に浮かんだ日常生活の具体的な場面を書いてください。

【良い場面】	【悪い場面】
(例)運動会に向けて学級みんな で協力できた。	(例)相手のことをばかにしたり、 かげぐちを言ったりする。



アンケートの下の自由記述

学級の良い点

手伝ってもらった後などにありがとうと言える。2
誰かが困っていたら男女関係なく手伝っている。2
グループ活動・話し合いができる。3
リレーやつな引きの作戦をみんなで出し合っていた。2
何事にも全力で取り組むことができる。
何でも言い合える雰囲気。5
仲が良い
移動教室の時に、持ち物をもってくれたりする
お互いに「ありがとう」「すごいね」「どんまい」などの声をかけている。3
明るい。元気。楽しい。エネルギーがある。8
みんな頑張る。
一人一人の個性が強い。
自ら進んでやるようになった。
やるときはやる。団結力。行動力がある。4
みんなで一つの目標に向かって自主的に取り組む
切り替えがしい。
ときどき真面目にやる。
楽しく授業をうけることができる。
休んだ人の分まで手紙を入れてあげたり、机を直している人が多い。
給食の準備とかたづけ

学級の悪い点

授業中に立ち歩いたりしている人がいる。
授業中うるさい。
切り替えが遅い。9
うるさい人が騒いだらみんなに伝染する。2
おしゃべりが多い。
言われていやなこと(あだ名)を言う。
人の事をからかう人がいて、それをとめる人と雰囲気がない。2
誰かが話をしているときに話を聞かないときがある。3
人の悪口を言ったりする。口が悪い。5
休み時間の時の言動。2
1か月ほどたったが、まだ遠慮している人が多い。
たまに話していると無視されたり、話をそらされたりする。
「死ね」「帰れ」という言葉が毎日聞こえる。
人をばかにする。2
ベル着の意識が低い。
意見がたくさん出て、多数決になった時に他の人の意見に流される時がある。

自由記述に書かれた文章を入力します。同じようなものは文末に人数を入力します。

プランニングの流れ③ ～プランニング当日～

<プランニングとは>

レーダーチャートやプランニングシートを使って、学級の現状を把握して、さらに居心地の良い学級にするための方法を考える時間です。

<プランニングのポイント>

① 最初は教師が司会をする。

最初は教師の司会からはじめます。プランニングの実施回数が増え、生徒たちが話合いの流れをイメージできるようになると、生徒による司会も可能です。

② 「個人の時間→グループの時間→全体で共有する時間」の流れを意識する。

初めから学級全体の話し合いになると、発言力のある生徒たちの意見にかたよる場合があります。個人で考える時間を設けることが大切です。また、グループの時間、全体で共有することを通して、たくさんの考えを聞くことができるようにします。

③ 良い点、改善点を学級全体で共通理解する。

レーダーチャートを見ながら、学級の良い点と改善点を分析します。点数が低いところを取り上げて理由を考える際には、個人名を取り上げない約束をすることで、点数が低いことが特定の生徒や、一部の人のせいにならないようにします。

④ 最後は自己決定させる。

生徒たちが提案してきた解決策を参考にしながら、個人に目標を達成するための解決策を考えさせます。個々の生徒が自分の目標を達成することをねらいとします。

学級活動指導案(略案)

(1) 題材 プランニングをしよう

(2) ねらい

- ・レーダーチャートを見ながら、学級の良い点、改善点を共通理解し、学級の課題を見つける。
- ・自分ができる改善策を考えることで、学級の課題解決に主体的に取り組ませる。

(3) 準備物

- プランニングシート×人数分 ○発表用ワークシート(B4白紙)×班数 ○ペン
- (可能であれば…○パソコン ○プロジェクター)

(4) プランニングの流れ

	活動内容	指導上の留意点
導入 15分	<p>【学級の現状を学級全体で共通理解する。】</p> <p>①プランニングの目的を確認する。</p> <p>「よりよい学級をみんなの考えと方法で作っていきたい」 「これからの学校生活をさらによいものにしていきたい」 など</p> <p>②レーダーチャートを見ながら、学級の現状を全体で共通理解し、学級の課題を見つける</p> <p>・例 点数が高い項目⇨学級の良い点 点数が低い項目⇨学級の改善点(話し合いの中心となる議題)</p>	<p>・可能であれば、パソコンを使ってレーダーチャートを提示する。</p>
展開 25分	<p>【個人及びグループで解決策を考え、全体で共有する。】</p> <p>③学級をさらに良くするための改善策を個人で考える。</p> <p>・プランニングシートに考えた改善策を記入する。</p> <p>④グループ活動のルールを確認する。</p> <p>(ルール) ・自分で考えた改善策は必ず言う。 ・メンバーの考えを1~2つにまとめる。 ・まとめた意見を発表用ワークシートに清書する。</p> <p>⑤グループでまとめた改善策を発表し、黒板に発表用ワークシートを掲示する。</p> <p>⑥全グループが発表したら、同じような意見をまとめる。</p>	<p>・プランニングシート配布</p> <p>・個人名は取り上げないことで、点数が低いことが特定の生徒や、一部の人のせいにならないようにする。</p> <p>・発表用ワークシート、ペン配布</p> <p>・グループ毎に代表者が発表する。</p>
まとめ 10分	<p>【日常生活で実施する解決策を個人で決める】</p> <p>⑦発表された改善策を見ながら、自分ができる改善策を考え、プランニングシートに記入する。</p> <p>⑧次回のプランニングまで、考えた改善策を実践する。</p>	<p>・一人一人改善策が違っていてもよい。あくまで自己決定することを大切にする。</p> <p>・次回のプランニングは約3週間後に行うことを伝える。</p>

参考文献

新潟大学教育学部附属新潟小学校 2010 『「学級力」で変わる子どもと授業』

参考 URL

新潟大学教育学部附属新潟小学校

http://www.fuzoku-niigata.jp/contents_new/gakyu.html